

伊豆の踊子

連作和歌 百首歌集

2007/8/23-2008/2/3

7901	かの伊豆の踊り子書きし川端が命の初夜を世に出しにけり	弁慶	8月23日 22時59分
7902	ロートレック描きたりにし踊り子の作品の前になみだし溢れ	れん	8月23日 23時19分
7903	誰の子だなんて聞かずに添ひ寝して赤ん坊育てる踊り子たちよ	真奈	8月28日 22時31分
7904	踊りたき心地よ希みし古書を得て駿河台下スタバへ急ぐ	ぎを	8月30日 00時37分
7905	都市対抗俄か最員のチームとてさよなら一打に心躍れり	蘇生	8月31日 14時11分
7906	さようならと語尾引き伸ばす君のくせ花小金井駅改札の前	弁慶	8月31日 21時30分
7907	もたれあふことをきらってさやうならを優しい群れにつぶやく隆明	真奈	9月2日 23時17分
7908	爽やかにさよなら言はれ別れくる一本道にコスモスの花	やんま	9月3日 08時11分
7909	幾度か芭蕉も越えし箱根山京都へ百里の道しるべあり	弁慶	9月3日 13時06分
7910	七千の標(しるべ)は遙か筑波嶺に九夜(ここのよ) 過す火ともしの翁	丹仙	9月5日 20時55分
7911	白鳥の皇子問い賜う日の数に連歌は興る酒折の宮	弁慶	9月9日 22時52分
7912	重九の吾が生れし日を限りとしふたたび号を重陽とせり	蘇生改め 重陽	9月10日 11時32分
7913	杜甫の詩(うた) 吟じて交はず菊の酒 長寿百年祈る東鶴	丹仙	9月13日 23時57分
7914	重陽の空東に舞ふ鶴を仰ぎし今朝の幸とぞ思ふ	寂	9月15日 00時19分
7915	白鶴も賀茂鶴もよし白鷹もされど酒絶ちてはや一年に	弁慶	9月15日 23時11分
7916	増水の瀬を見下ろせる白鷺の投げ首なるか首は短かし	重陽	9月16日 06時02分
7917	老鷺は天まで昇る夢を見て振向きもせず川面みつめり	真奈	9月19日 22時13分

7918	さざなみや紅葉流るる思川岸边に立ちて君を偲べり	弁慶	9月20日 23時19分
7919	日に増して鰯の群れの盛り過ぎ寄る小波に秋の色濃き	重陽	9月22日 09時02分
7920	良寛のひふみよいむなや出雲崎寄せ来る波に一輪の月	丹仙	9月25日 22時06分
7921	月見れば国上山の五合庵良寛偲ぶ貞心尼かな	弁慶	9月25日 22時31分
7922	二輪たつ雪の薔薇なる名のありし蓮は雨の滴をみする	れん	9月25日 22時52分
7923	まぶしさに疲れなへつつ月影を恋ふとや言はむ蓮のたをやか	真奈	9月29日 11時09分
7924	月影を踏みて帰りしあの小道今高速道の橋桁の下	弁慶	9月29日 15時19分
7925	吾が生れし村の岡なる小道はも今ひとたびを後はなからむ	れん	10月2日 18時23分
7926	わが和歌の道には師無し拙ければ封してしまふ恋の呟き	やんま	10月3日 13時38分
7927	東路の果てに流るる秋の川恋に身を焼く真間の手古奈よ	弁慶	10月3日 22時32分
7928	本心は日替はり毎に別の女求めて止まぬをとこてふもの	茉莉花	10月4日 19時25分
7929	一筋にただ一筋に思いしが願ひかなわず夜ごと泣くわれ	弁慶	10月4日 19時34分
7930	人知れずかはく間もなき沖の石の時てふ水に磨かれて澄み	真奈	10月4日 23時29分
7931	若き日に白蓮さんの沖の石なみだの話ききしも懐かし	れん	10月7日 10時27分
7932	赤銅の御殿は既に朽ち果てて白蓮の歌微かに残れり	弁慶	10月8日 12時40分
7933	あかがねの城に炎舞の踏絵ふむ神はいつこに星はいつこに	真奈	10月13日 11時29分
7934	傍らに空気のやうに在りしひと何れ何処にゆきたまはむや	れん	10月14日 07時53分
7935	添い合って空気のような互いでも時にいさかいザインを確かむ	重陽	10月14日 17時59分
7936	ゾルレンかザインかよくはわからねど喧々譁々青春の日々	弁慶	10月14日 20時21分
7937	何処より来りていずこにゆくならむ判らなければ今日もたすけられ	れん	10月14日 21時04分
7938	烏瓜かの夕方の白花はすでに灯りて風にゆらぎぬ	重陽	10月15日 06時46分

7939	とべら実の弾けて風のいたみ知るゾルレンの日々なれど愉しむ	真奈	10月15日 09時18分
7940	山行けばまるきアケビの小紫口は弾けて呵呵々大笑	弁慶	10月15日 21時20分
7941	元上司の通夜の遺影にその頃の破顔がありて思いあふるる	重陽	10月16日 09時24分
7942	はるかなる小岩井の秋深まれば思いあふるる雫石川	弁慶	10月20日 07時19分
7943	またひとり青の空にぞ帰天する山の秋はも深く迫りぬ	れん	10月20日 08時07分
7944	己より壮なる若き好漢の通夜に思うは癌ぞ悍まし	重陽	10月21日 12時49分
7945	大学の二年の秋に癌で死す姪の微笑み思い出づる日	弁慶	10月21日 21時38分
7946	胸の薔薇恥ずかしさうに抱きつつカシオペアへと君は旅立つ	やんま	11月3日 00時25分
7947	旅立ちの無事を祈りつ華美嫌ふ君の枕辺ぼくは座るよ	海月	11月3日 18時48分
7948	金婚の喜びに起つご夫妻の円き仕草に相似を見たり	重陽	11月4日 05時21分
7949	金メダル目指す日本の名セッター竹下佳志恵夜ごと頑張る	弁慶	11月11日 09時49分
7950	我春はあなた任せと俳諧の翁はまめに日記遺せり	丹仙	11月20日 16時30分
7951	梅が枝は風に任せて疎らにて入日の日々に山は錆びたり	重陽	11月20日 21時07分
7952	木枯しの季節となるも池の面三島梅花藻白き花咲く	弁慶	11月20日 23時02分
7953	柿田川湧水にさく梅花藻をめずることなき日々の明け暮れ	れん	11月21日 15時33分
7954	温かき十一月を日次ぎきて今朝の寒気に怖気立ちたり	重陽	11月23日 07時01分
7955	柿の実や空青々と広々と伊豆の村々霜月の頃	弁慶	11月23日 08時22分
7956	うすき陽の初冬はさむしダリア咲く赤きひとつが異次元さけぶ	れん	11月25日 09時18分
7957	ポアンカレ予想を解きしかの人は最果ての地に隠れ住むなり	丹仙	11月25日 10時47分
7958	最果ての原生花園の浜茄子も雪に埋もれて春を待つ日々	弁慶	11月28日 22時05分
7959	つむり病む姉は幼女のごとく在り朱き蜜柑に笑みぞこぼるる	真奈	11月30日 10時01分

7960	蜜柑もぐ村の翁の導きに心敬和尚の墓に額づく	弁慶	11月30日 21時47分
7961	ものの音のやみて川面に隠る月あはれ声なき時のしるしよ	丹仙	12月2日 16時18分
7962	隠れ住むこの生活に慣れれば炭で炭割る音の冴へたり	やんま	12月3日 17時03分
7963	隠れ住む人を訪わばや十六夜の月の光の深草の里	弁慶	12月3日 21時35分
7964	隠るるにあらずやむなし過ぎゆきの支配いまだしひきずるもあり	れん	12月4日 19時56分
7965	胸奥の切符は一枚発光の時をしづかに待ってをります	真奈	12月4日 20時52分
7966	木枯らしの吹き抜く寒き朝なれど下の畑で待っております	弁慶	12月5日 10時22分
7967	売られゆき更地になりし一面の広々なりて寒々となる	重陽	12月6日 06時39分
7968	寒ざらし蓬の餅を冬ざらしさりとぼけて若きのやさし	れん	12月11日 13時26分
7969	二十代のすべてを戦場の兵たりし日中戦争七十周年	真奈	12月16日 14時00分
7970	白雪の富士の高嶺も宝永の噴火の日より三百周年	弁慶	12月16日 22時38分
7971	正眼に冬満月を仰ぎ見てそこにかぐやのわが世紀なり	重陽	12月25日 05時15分
7972	東海の沖にかかれる満月や凍てつきおきたし来る日のため	白馬	12月29日 13時47分
7973	霜枯れの富士の裾野の朝まだき東を見れば赤き山の端	弁慶	12月29日 17時16分
7974	大年を明日に期してはひと年のわが身の穏やかなるを	重陽	12月30日 09時46分
7975	呆然と往く年くる年あけにけり震へしことの涙つかの間	れん	1月1日 21時27分
7976	典雅なる十九世紀をウィンフィル歌へよ春を踊れワルツを	真奈	1月1日 21時52分
7977	正眼に初日ゆらぎて富士を背に第九の歌に身をおく如し	重陽	1月2日 10時07分
7978	何時までも同じ過ち繰り返すラベルのボレロの如き我かな	弁慶	1月2日 21時28分
7979	蓮なる花のボレロは人間の大きめぐりぞ高まりにみて	れん	1月2日 22時34分
7980	舞ひ上がる鳶の高みの初空の淡淡とゆくわが想ひごと	やんま	1月3日 06時14分

7981	東雲の西には夜の色残し出を待つ空は澄み渡りたり	重陽	1月4日 06時36分
7982	返さんか碧の空より返さんか罰はいいのだ三児のいのち	海月	1月9日 19時27分
7983	酷ければ言葉にならぬ歌もまた無力を知らむ春の浅きに	深海鮫鱈	1月13日 23時41分
7984	春浅き足柄峠富士を背に下れば相模関本の宿	弁慶	1月13日 23時54分
7985	梅が枝に小鳥渡るや朝なさな固き蕾を閲する如くに	重陽	1月15日 05時38分
7986	チチチチと山雀、目白、四十雀囀り渡る梅の梢を	弁慶	1月15日 21時30分
7987	父母を戀ひしカラスも生ひ立ちて嫁を取るらむ春には鳴かむ	深海鮫鱈	1月16日 19時38分
7988	父母の生きてあらばと思ふときちちろと燃ゆる哀しみ迫る	れん	1月20日 10時56分
7989	寒いかいと声にしてみる亡き父母のポートレートに大寒の朝	重陽	1月21日 05時38分
7990	寒ければ砂糖少々の生姜湯を飲むが良いよと今は無き母	弁慶	1月21日 19時27分
7991	味噌を溶き鍋を仕立てて爛の酒咳こむ冬の夜を優しく	真奈	1月21日 21時31分
7992	大寒の雪がちらつく身の痛さやさしくにされやさしくになる	れん	1月22日 19時59分
7993	深雪積む野沢温泉スキー場宵闇迫る山の頂	弁慶	1月22日 23時39分
7994	西空に夜を残しつ透明な東に定か今日の寒さが	重陽	1月25日 06時19分
7995	寒気団南へ下る夜となれば寒さひとしお横走りの関	弁慶	1月25日 20時09分
7996	春を見つけてみませふよ日溜まりにはこべが生へてみましたよ	雛菊	1月31日 14時08分
7997	常夏の島へ五日の旅をしてこの五日にも春は春なり	重陽	2月2日 06時08分
7998	春近き白波寄する伊豆の海かの右大将詠みし磯かな	弁慶	2月2日 09時41分
7999	春の海その輝きに潮騒に我脈拍のちぢに乱るる	やんま	2月3日 07時08分
8000	春立つを心に待ちつ淡雪に時の移りをしかと覚えり	重陽	2月3日 19時31分